

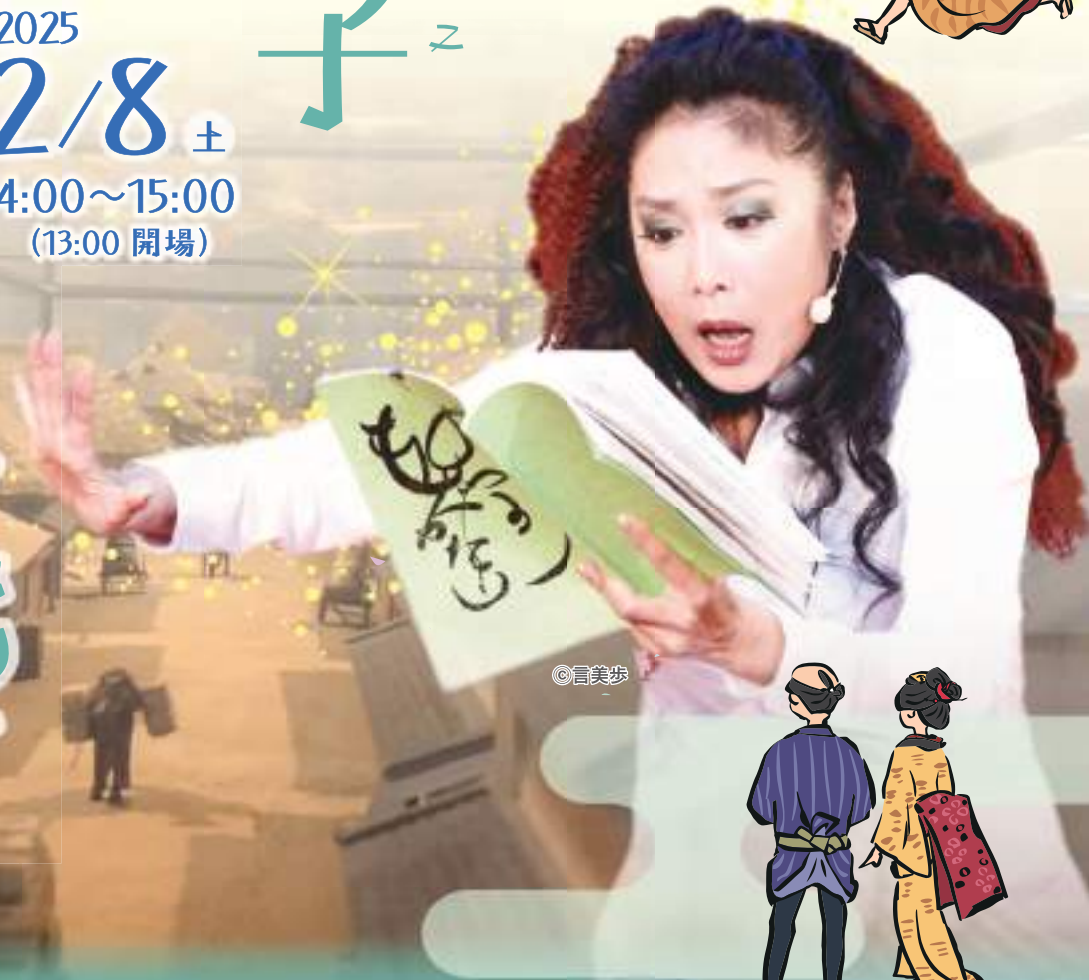
# 浅野 温子

手話通訳等  
鑑賞サポート  
付き!

SENJU JUKU  
400th  
since 1625

2025  
2/8 土  
14:00~15:00  
(13:00 開場)

ぼくのタイムスリップものがたり  
江戸時代の千住宿に迷いこんじゃった!



©言美歩



江戸時代から今に通じる、足立区の名所旧跡が数々登場!

日時

2025年2月8日(土) 開場13:00 開演14:00

会場

ギャラクシティ 西新井文化ホール

出演

俳優・浅野 温子 音楽・茶喜利

公演ページ



●全席指定(税込)

一般 1,500円、足立区民 1,000円、高校生以下 500円

※未就学児の入場不可、小学生は保護者同伴

※足立区民割引は、足立区に在住・在勤・在学の方が対象 ※足立区民割引は前売のみ

チケット発売日 12月3日(火)

主催/ギャラクシティ 指定管理者みらい創造堂

※本事業の鑑賞サポートは、「東京文化戦略2030」の取組「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環でアーツカウンシル東京が助成しています。

※これは音声コード「Uni-Voice」です。携帯電話やスマートフォンで読み取ると、情報を音声で聞くことができます。



## ものがたりの紹介

主人公の少年が江戸時代の千住宿にタイムスリップ。そこで、温かな人情に触れ、友情を育み、これまで味わったことのない日々を送ることに。

そして、令和の世界に戻るために、少年は仲間たちの協力を得てある冒険にチャレンジする。難題を乗り越えた少年は、一回り成長して元の場所に帰ってくる？！

千住宿を中心とした足立区の名所旧跡などを登場させながら、令和の小学生と江戸時代の人々との交流を描く。足立区島根地区に残る伝説“普門寺の埋蔵金”（『足立百の語り伝え』より）の話も織り込んだオリジナル作品。

※『足立百の語り伝え』の「金武屋敷」「普門寺の埋蔵金」の伝説を元に、謎解きの冒険ストーリーを展開。足立区独自の伝説と、オリジナルのタイムスリップ物語とのクロスオーバーをお楽しみください。  
脚本 阿村 礼子



▲千住宿模型

手話通訳等  
鑑賞サポート  
付き！

視覚・聴覚障がい配慮したお席があります。

対象 身体障害者手帳をお持ちの方と介助者1名まで 料金 無料

申込期間 事前申込(抽選) 2024年11月1日(金)～22日(金)※必着

結果連絡 当選者のみに11月29日(金)までに連絡

申込方法 専用応募フォーム、FAX、電話、1階図書受付

詳しくはホームページをご覧ください▶▶▶



### ギャラクシティ

■窓口販売 9:00～20:00

■インターネット予約 <https://www.galaxcity.jp> ※発売日のみ9:00～、翌日以降24時間受付

■電話予約 03-5242-8161 ※発売翌日9:00～(9:00～20:00)

### 足立区内販売窓口 (販売受付時間9:00～20:00)

※各地域学習センターの開館状況は、各地域学習センターホームページにてご確認ください。

■庁舎ホール(足立区役所内) ※平日のみ9:00～17:00

■生涯学習センター(学びピア21内)、各地域学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、千住スポーツ公園、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール、

■平野運動場 ※9:00～17:00

### イープラス <https://eplus.jp>

- ギャラクシティおよび足立区内販売窓口のみ、販売初日はお席の指定はできません。●足立区民割引はギャラクシティおよび足立区内販売窓口のみの販売となります。
- お求めいただいたチケットのキャンセル、払い戻し、変更等はできません。●車いすでの鑑賞をご希望のお客様はギャラクシティまでお問い合わせください。
- 場内での飲食、写真撮影、録音、録画、携帯電話の使用は固くお断りいたします。
- 当日、メディア関係者の撮影が入る可能性があります。客席を含む会場内の映像・写真が公開されることがありますので予めご了承ください。
- 内容変更または中止・延期となる可能性があります。●チケット完売の際はご了承ください

### 会場

## ギャラクシティ 西新井文化ホール

- 駐車台数には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

### 公演に関するお問い合わせ

電話または窓口(9:00～20:00 休館日を除く)  
ギャラクシティ 電話/03-5242-8161  
〒123-0842 東京都足立区栗原1-3-1



### アクセス

東武スカイツリーライン  
「西新井」駅東口から徒歩3分  
コンビニエンスストアの左手歩道を直進。  
環状7号線の高架下、横断歩道を渡り、  
さらに直進した右手側。